



私達が

南丹市に望むこと



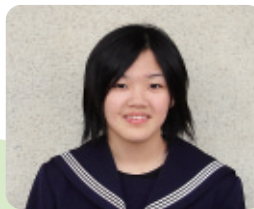
●南丹市立殿田中学

向井 歩美 (左)
向井 成美 (右)

私達は、南丹市にいろいろなことをやってほしいと思っています。

例えば、年に一度、南丹市での文化祭を開催するなどです。そうすれば、市全体が盛り上がり、皆が楽しめて、市が活気づくいい機会になると思います。毎年こういう行事が続くと、南丹市に人が増えるかもしれません。また、たとえ人が増えなくてもお祭りのように地域と地域の楽しい付き合いが増えるだけでも私達にとって嬉しいことです。

少子高齢化が進み、過疎化している南丹市のイメージを変えるためには、市全体がもっと明るく楽しくなることが一番大切だと思うので、南丹市おこしをしてほしいです。



●南丹市立美山中学校 中野 有香

私は、社会科の授業で過疎化や高齢化について学んだ。この問題は、今まさに南丹市、特に美山

町等の田舎で深刻化している。田舎に住む私は、田舎の良さをたくさん知っている。このまま過疎化や高齢化が進み、そのたくさんの良さが廃れてしまうのはとても惜しい。そこで、特産物や自然の美しさ等の良さをピーアールして若者の働く場所を増やすこと、団塊の世代といわれる方々も定年を迎えられ、これからもどんどん進む高齢化に備えて設備を調えることを基礎として、若者からお年寄りまで幅広い年代の方々が暮らしやすく、歳の壁を超えた温かい付き合いのできる市をめざしてほしい。



●南丹市立園部中学校 山田奈々末

今の南丹市を見渡すと、緑がいっぱいでとても空気が新鮮で私たちにとって住みやすいまちです。

しかし、高齢者の方にはどうでしょうか。南丹市は、福祉施設など整っていますが、もっと多くの高齢者の方が安心して外へ出られるように、さらにバリアフリー化に力を入れてほしいです。

現在、社会では環境について問題になっています。植物、動物が生きていけなくなる前に、一人一人が現実と向き合い、そして、南丹市のことを考えてほしいです。

この先、時間が過ぎても、緑の自然や伝統が変わらず、皆の笑い声が絶えない、私のふるさと“南丹市”であってほしいです。



●南丹市立八木中学校 人見真奈美

南丹市は緑も多く良い市だと私は思います。しかし、市民全員に「南丹市に要望はありますか」と尋ねると「はい」と答える人はいると思います。

実際、私は友達に聞きました。すると、「公衆トイレを使いやすいようにしてほしい」と答えました。確かに八木駅のトイレはどこか暗く使いにくいと思います。公共のものなのに使いにくいのは改善しなくてはいけないと思います。他にも「街灯が少ないので夜道が怖い」と答えた友達もいました。商店街は明るいと思いますが、人通りの少ない道にはまだ普及していないと思います。身の回りのことから改善し、明るい南丹市になることを私は望んでいます。

「目に青葉 山ほととぎす 初鯉(素堂) 水ぬるみ、周囲一面の新緑で、自然が移ろう中に、生命の躍動を感じる季節です。 3月定例会が終わるや、一斉地方選挙が始まり、あわただしい時期の編集となりました。紙面から、合併して1年の南丹市の落ち着きを取り戻したところを汲み取っていただけたと思います。ご意見ご感想をお寄せください。(K・O)



6月定例会の予定

- 5日(火) 本会議(開会、議案提案説明)
- 12日(火) 本会議(一般質問)
- 13日(水) 本会議(一般質問)
- 14日(木) 本会議(一般質問)
- 26日(火) 本会議(採決、閉会)

*5月28日(月)午後5時までに提出された請願・陳情等は6月定例会で取り扱われます。
*会議時間はいずれも午前10時からの予定です。この日程については予定であり、予告なく変更となる場合があります。